

## 「大津市緑の基本計画審議会」の会議結果（令和6年11月20日）

1. 開催日時 令和6年11月20日水曜日  
午後2時00分から3時30分まで
2. 開催場所 市役所本館4階第3委員会室
3. 出席者 12人 委員 6人（欠席0人）  
事務局 6人
4. 議 事
  - （1）大津市の緑の現況と課題について
  - （2）第4次大津市緑の基本計画の中間見直しの方針について
5. 議事録又は会議概要
  - ・会長・副会長の選出  
会長 村上 修一委員、副会長 里深 好文委員に決定
  - ・諮問  
諮問事項：第4次大津市緑の基本計画（以下「現行計画」という。）の改定について
    - ・現行計画の評価・検証に関すること
    - ・中間見直しの方針及び見直し内容の検討に関すること
  - ・議事
    - （1）大津市の緑の現況と課題について  
事務局より説明  
（委 員）  
計画策定後に検討が必要となっている事業の中で、大戸川ダムに関連するものがあるが、今回の見直しにおいて計画に記載すべきではないか。  
（事務局）  
中間見直しの記載内容についてはこれから関係各課と連携して検討していく。  
（委 員）  
計画策定後に検討が必要となっている事業について、それぞれどのような事業か。  
（事務局）  
大津港周辺における官民連携共同体の構築とは、なぎさ公園を含めた大津港周辺地域においてエリアの価値向上を目的とした協議組織の構築を進めるものであり、市役所庁舎整備プロジェクトは市役所新庁舎整備の候補地として、皇子山総合運動公園の活用を検討するものであり、坂本城跡を活かした歴史まちづくりプロジェクトは発掘された坂本城跡を活かしたまちづくりを検討するものである。  
（委 員）  
森林面積について、田上地区では現在新名神の建築に伴い森林が更地等になっている

ところがある。この森林面積減少を反映したデータはあるのか。

(事務局)

森林面積の減少を反映しているか、後程確認する。

(委員)

田上地区について、新名神の整備に際して緑が大きく減っている印象を受ける。事業主体であるNEXCO西日本に対しても法面の早期保護を申し上げている。また市民意識調査の報告において、施設緑地を求める声が多いと感じたが、自然に囲まれた地域にも施設緑地が必要でないかと考えている。

(委員)

新名神建設における委員も兼任していることから、新名神の整備により減少した森林面積に関する意見を伝えるため、面積の推移を把握したいと考えている。

## (2) 第4次大津市緑の基本計画の中間見直しの方針について

事務局より説明

(委員)

グリーンインフラという概念について、流域治水の観点からも記載を検討していただきたい。

(委員)

手入れが行き届いていない農地や山林について、今後どうしていくのか検討していく必要があるのではないかと考えている。

(委員)

公園緑地に限定しすぎているように感じる。記載内容や施策について、いくつか提案したい。

まずダイバーシティ・インクルージョンの考え方を入れなければならないと考える。公園の管理においては、ハード設備のインクルーシブ遊具の整備というのが進んでいるが、障害の有無や外国人など、そういった方も含めてどのようにしていくのかというところを検討するため、この考え方を加えたい。

次に、基本方針2について、公園の利用については昨今の気候変動の中でも特に暑熱対策についての考え方や、新型コロナウイルス感染症等のパンデミックが発生した際における公園の役割について検討いただきたい。

さらに、学校の部活動について、地域が活動を担うという変化の中で、子どもの公園利用がどのように変化するのかについても検討が必要ではないか。

そして、公園の利用者の変化についても確認し、今後検討が必要なことがあればその対策を記載いただきたい。これらの内容に加え、人口動態等も踏まえて幅広い視野で社会情勢の変化を分析し、基本方針の3つの柱に基づく各施策の充実をお願いしたい。

(委員)

都市公園に限らず、身近な緑や協働の在り方について検討していただきたい。

(会長)

先ほどまでの意見を総合すると、基本方針について、原案では2及び3のみを見直すこととなっているが、社会情勢の変化を広く捉えて、流域治水や社会的包摂性などの新

たな考え方、子育て環境をめぐる様々な教育環境等の変化に伴う公園利用の変化、緑地環境に対するヒートアイランドへの緩衝機能の期待、施設緑地や都市公園に限らず、身近な緑の在り方など、現在そしてこれからの社会状況に照らして、必要に応じて見直す必要があると考えられる。

社会的な情勢を再検討し、最新の概念を積極的に取り入れながら、見直す方向でお願いしたい。

(委 員)

数値目標について、民間活力の導入とあるが、事例を聞くと緑をイメージできるものとは考えにくいので、文言について見直しをお願いしたい。

(会 長)

中間見直しにおいて、今後の数値目標についても社会情勢全般を見直した中で、他の自治体等の先進事例を確認した上で、検討いただきたい。

(委 員)

地域計画について、地域の中でも人口の増減の差が出ている。それぞれの地域を細かく見ていくことも必要であると考えられる。

・その他

- ・今回の指摘があった内容を踏まえ、見直し方針について修正したものを共有する。
- ・次回審議会の日程：令和7年2月17日午後2時より開催。